
闘争委員長の決意

ろうきんセントラル労働組合
闘争委員長 中川 義一

私たちは、これまで以上に深い議論を経て 2014 春季生活闘争方針を確立させました。

私たちは、日常業務に加えてシステム移行に向けて全力で取り組んだ結果、全国の約 640 カ店を一斉に移行するといった前代未聞のプロジェクトは、一部で不具合が見られたものの無事に移行を果たすことが出来ました。これらは、労働金庫で働く全ての役職員の奮闘があつてのことだと考えています。2014 年度は、システムの一部の不具合の解消を含め、その安定稼働や有効活用に向けて、もう一段の奮闘が必要だと認識しています。事業体は、私たちのこれまでの奮闘とこれからの奮闘に対して、目に見える形で応えていくべきです。

なお、私たちは、2015 年度に向けて事業体側と新人事賃金協議を行っており、安定雇用、公正処遇については、その中で実現を図っていく考えです。

私たちは、全国の労金労組とともに全労金の旗のもとに団結して、2014 春季生活闘争を最後まで闘う抜くことをここに決意します。